

平成 29 年度コミュニティ交流会結果報告

日時 平成30年1月17日(水)午後2時
 場所 天白区役所 第3・4会議室
 参加者 32名(各学区の自治会・町内会長)
 内容 グループごとに以下の6つのテーマについて現状や問題点をあげ、解決に向け話し合いました。

①町内会加入促進

- 意識の変化
住民に連絡できない
- マンション・アパート
- ・管理会社とコミュニケーションを密に
 - ・アパートのオーナーから管理会社に
 - ・マンションが建つ前にアプローチする
 - ・時には例外も(ワンルームは、会費半額)
- 加入全般
- ・会えると加入する確率は高い
 - ・未加入者に定期的に働きかけ(年末年始のごみ情報提供の際)
 - ・町内会に行くのが楽しくてしょうがないようにしていく。
 - ・学区ウェブサイトで町内会の説明
 - ・会議には女性、お祭りには夫婦で参加
 - ・入会説明資料を配布する
 - ・入会説明資料に有益情報(AED、ごみ情報等)を記載
 - ・子どもをきっかけに呼びかける

②男性の地域デビュー

- 忙しいめんどろ
- イベント開催
- ・コミセンで、将棋倶楽部を作ったらわすかではあるが男性が参加してきた
 - ・食や趣味のイベントを開催
 - ・体験の機会を設け、参加してよかったと思ってもらう、行きたくてしょうがないようにする
- コミュニケーション
- ・その気になれば、仕事をしながら町内会長もできる
 - ・1対1で話しをする機会を設けどんな人かを知ることが大切
 - ・町内会長のやりがいを伝える(2年目がおもしろい)
 - ・今の自分があるのは地域のおかげと思ってもらう
 - ・新規加入者が組長をやるルール
 - ・役員経験者とのつながりを絶やさない
 - ・事務はNPO、決定は町内会
 - ・いったん顔見知りになると協力的になる
- 若い世代を役員に!

ホッとするまち「好きだよ、天白」

④広報

- 見てくれる?
担い手不足
- 普段やらないことをして、目を向けさせる
- 内容
- ・子育て世代の意見を集める
 - ・写真を載せる
 - ・字を大きく
 - ・回覧板に子どもの書いた絵を載せる
- 担い手
- ・広報の担い手を育む楽しい環境づくり
- 町内会非加入者にも情報発信
- ・回覧板のデータ版をつくる(メール配信)
 - ・HPで広報

- ・地域のことを知ってもらおう
- ・イベント参加者増

③夏祭り・コミセン祭り

- 参加者、予算、人手不足
マンネリ化
- But
地域のつながりのため、祭りは大事!
- 内容充実
- ・他の地域と日程をずらすなど出店者を増やす
 - ・地域でいろんな技術のある人を呼び
 - ・いろいろな団体にブースを割り振る
 - ・企画に季節色を出す(餅つき、BBQ)
- 準備作業
- ・場合によっては、業者を利用する
 - ・準備自体も重要なコミュニケーションの場
- 参加者増加
- ・チラシを全世帯配布(非加入世帯も)
 - ・子どもが来ると、親世代もついてくる

⑤大学生・高校生との連携

- 若い世代の力を
- ・大学の寮生にイベントに参加してもらっている
 - ・大学生の参加は一時的なもので、地域に愛着をもつまではいかない
 - ・学童出身の子どもたちにイベント等に参加してもらっている

⑥子ども参加イベント

- つながりが強く、大きくなっても参加してもらえる
- 高校・大学と連携
- 親も子ども忙しいイベントの企画
- もっと若い世代を
- 子どもをきっかけに
- 内容充実
- ・食が必要
 - ・U字溝を使ったさんま祭りや子ども祭りなど成功事例あり
 - ・参加して楽しただけではなく、担い手までもっていく工夫が必要
 - ・イベントに「参加したくてしょうがない」と思ってもらえるような仕掛け
 - ・子どもに楽しいと思ってもらおうと親は抜けにくい
 - ・好きなものに訴えかける
- 子ども会・担い手
- ・(参加してもらうための)きっかけが必要
 - ・長く役員をやるとアイデアが出る
 - ・心に響く話をする同世代の人が何度も説得に行く
 - ・子どものころから、地域に愛着をもってもらい将来の担い手に

